

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2020.3) 令和元年度:30.

手術部スタッフコール対応と標準化 ―手術チームでつくるフローチャート―

岩城 静香, 渡邊 香留, 柴田 祐希, 山近 真実, 國澤 卓之,  
佐古 澄子, 平田 哲

## 手術部スタットコール対応と標準化 —手術チームでつくるフローチャート—

手術部ナースステーション<sup>1)</sup> 麻酔科蘇生科<sup>2)</sup> 手術部<sup>3)</sup>

○岩城静香<sup>1)</sup> 渡邊香留<sup>1)</sup> 柴田祐希<sup>1)</sup> 山近真実<sup>1)</sup> 國澤卓之<sup>2)</sup> 佐澄子<sup>2)</sup> 平田哲<sup>3)</sup>

### 【はじめに】

手術部スタットコール(以下スタットコール)時に看護師、臨床工学技士、麻酔科医(以下、手術チーム)が集まるが、状況を理解できず、物品・器材の準備に時間を要する。スタットコール時フローチャート(以下フローチャート)を作成した。

### 【目的】

手術チームがスタットコール時に迅速かつ効果的な対応ができるフローチャートを作成し、周知を図る。

### 【方法】

1. フローチャートを作成。2. フローチャートを手術チームへ周知。3. フローチャートの内容についてテストを実施、質問で認知度を返答する形で回答を得る。

### 【結果】

フローチャートには、スタットコールまでの手順、患者評価のポイント、BLS・ACLSの手順、必要な物品・器材と薬剤を記載した。また、迅速に連絡を取れるようにPHS番号も記載した。

### 【考察】

フローチャートの作成により、患者の評価手順・対処法と必要物品の周知を、また、テストにより、知識の整理を促すことができた。手術チームのスタットコール時対応の標準化につながり効率的かつ効果的な動きと迅速化が可能になると考えられる。

### 【結論】

フローチャートを作成し、手術チームへ周知した。それはスタットコール対応の標準化につながる。